

令和8年7月17日（金）
地域創生部文化遺産課
文化財活用係
電話 027-898-3547 内線 4692

国登録有形文化財（建造物）の新規登録について

令和8年7月17日（金）に国の文化審議会（会長 ひびのかつひこ 日比野克彦）が開催され、本県
所在の建造物1箇所1件の登録が答申されました。

1 答申が行われた本県所在の建造物

にほんかやくかぶしがいいしやたかさき 日本化薬株式会社高崎クラブ（きゅういはなかやくせいぞうしよしゅうかいじょ 旧岩鼻火薬製造所集会所）
（所在地：高崎市岩鼻町字坂上北 239-38） 詳細は別添資料を参照

2 登録有形文化財（建造物）数（官報告示後）

・ 364件（143箇所） （件数1件、箇所数1箇所の増）

3 関係機関 連絡先

・ 高崎市教育委員会文化財保護課 027-321-1292

名 称	構造及び形式	建築年代等	登録基準
日本化薬株式会社高崎クラブ (旧岩鼻火薬製造所集会所)	木造平屋建、瓦葺、 建築面積363㎡	昭和前期	2 ※

※登録有形文化財登録基準（２）「造形の規範となっているもの」に該当。

（１）所在地

- ・高崎市岩鼻町字坂上北 239-38

※民間所有の非公開施設ですので、見学はご遠慮ください。

なお、一般公開の予定は現在ありません。

（２）概要と建物の変遷

- ・岩鼻火薬製造所は、旧陸軍によって設立され、明治15年（1882）から終戦までの約60年間にわたって、黒色火薬、無煙火薬、ダイナマイト等の生産を行った施設です。
敷地は現在の日本化薬株式会社高崎工場、国立研究開発法人量子科学技術開発機構高崎量子技術基盤研究所、アイ・ディー・エー群馬の森にまたがる広大な範囲でした。
- ・集会所は昭和前期の建築で、火薬製造所の幹部職員等の社交場として使用された、和洋折衷の瀟洒な倶楽部建築です。
- ・現在は日本化薬株式会社高崎工場の所有となり、社員の社交施設や来客の迎賓施設として、現在も利用されています

（３）建物の特徴

- ・寄棟造の主棟と、その南西に接続する南棟の2棟によって構成されます。
当初の姿をよく留めており、修理を行いながら大切に利用されてきました。
- ・主棟は玄関のある西側と北側を洋風の外観とし、ドイツ壁風小壁や縦長窓をあしらっています。一方で南側・東側は和風の外観とし、全体としては和洋折衷の瀟洒な倶楽部建築となっています。内装についても、玄関やビリヤード室は洋風、大広間は和風の座敷とし、和洋折衷の社交場として機能してきました。
- ・南棟については、外観も内装も和風でまとめています。
- ・岩鼻火薬製造所の様子を現在に伝える貴重な建築物です。

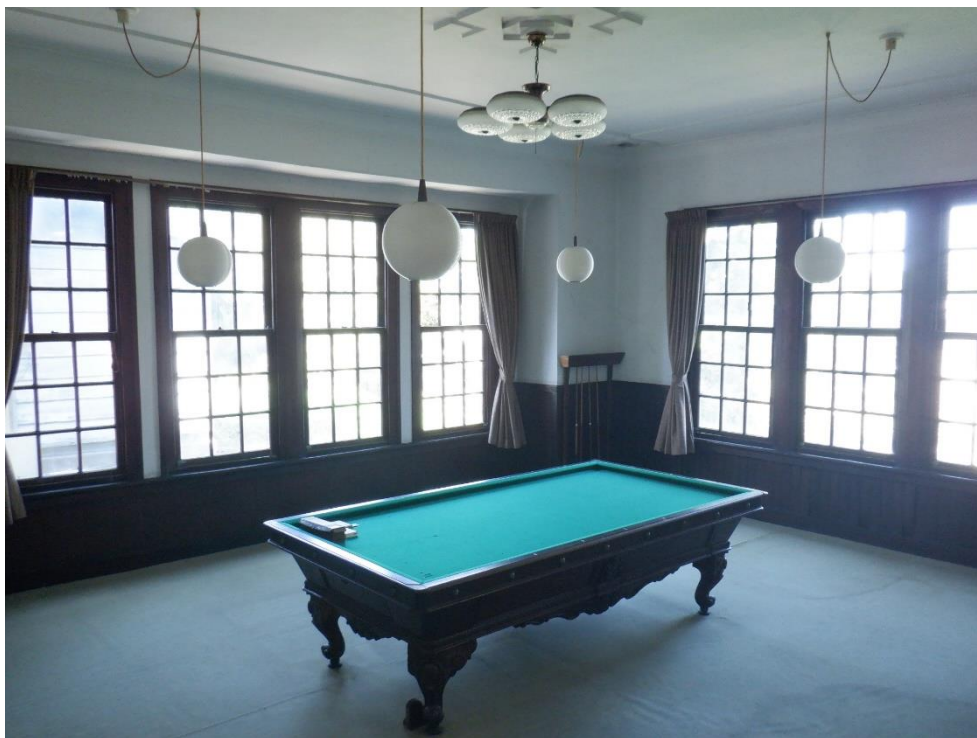
(4) 写真（提供：高崎市教育委員会）



日本化薬株式会社高崎クラブ（旧岩鼻火薬製造所集会所） 玄関正面



日本化薬株式会社高崎クラブ（旧岩鼻火薬製造所集会所） 外観



日本化薬株式会社高崎クラブ（旧岩鼻火薬製造所集会所） ビリヤード室



日本化薬株式会社高崎クラブ（旧岩鼻火薬製造所集会所） 大広間